

JAL子ども未来開発本部で、“子ども社員”が活躍中!

“#かくれナビリティ”を探してみよう!



JALグループは豊かな地球を次世代に引き継ぐために、サステナブルな空の旅の実現に向けたさまざまな取り組みを行っています。昨年4月から、普段の体験の中では見えづらい航空利用におけるサステナビリティを「かくれたサステナビリティ=#かくれナビリティ」として機内やJAL Webサイトなどでご紹介しています。搭乗時間に間に合うこと、降りる時に窓のシェードを下ろすことなど、ちょっとした行動がサステナビリティにつながることを実感していただき、JALグループとお客様が一緒に取り組んで

いくことを目指します。

さらに今年7月より、小学生のお子さまを対象にサステナブルなアイデアを募集すべく『JAL子ども未来開発本部』を不定期で開催しています。参加いただくお子さまを“子ども社員”として、お子さま目線での#かくれナビリティ探しや、現役パイロットを講師に迎え、これからの未来を担っていくお子さまと地球環境

を考えることをテーマとした各種イベントを行っています。

カスタマー・エクスペリエンス本部のうちだひょう内田彪は、「サステナビリティという言葉を知る機会が増えてきましたが、実際に何をすればよいかわからない方も多いのではと感じています。#かくれナビリティのような一人一人のちょっとした行動が大きな力となり、持続可能な社会の実現につながることを知っていただく機会になれば嬉しいです」と話します。今後は、JAL子ども未来開発本部でのイベントをはじめとした#かくれナビリティの展開を予定しています。

JALグループはこれからも、持続可能な社会の実現に向けて、お客さまと共に取り組んでまいります。S

こんなところにも #かくれナビリティ



イベントでは“飛行機や空港でできるサステナビリティ”について、「海洋ごみで飛行機をつくる」「管制塔で緑を育てる」など、さまざまなアイデアがありました。

詳しくは
こちら!



降りる時に シェードを 下ろす!

飛行機を降りる際に窓のシェードを下ろしていただくと、機内の温度を一定に保つことができCO₂排出量削減につながります。

搭乗時間に 間に合うこと!

予定どおりに運航ができると、遅延による運航スピードの加速が不要となり、CO₂を余分に排出せずに運航することができます。

